



アツと驚く
アイデアを
考えようよ。

おおとひさかず
大戸久一が問う

思い切った少子化対策を

Q 「子育てするなら小川町」と言われるような独自の子育て支援策を。まずは経済的負担を軽減するための第2子以降の保育料無料化は。

A 子育て支援課長 現在、第3子以降の保育園に入園する0・1・2歳児の保育料を無料としています。各種アンケートから、最も多くの夫婦が望んでいる支援として「第2子からの保育料無料化」を実現するためには、対象者197人、年間3600万円の財源が必要になり、その有効性は理解できませんが、現在は踏み切る

状況にあります。

Q 「みんなやさしく親切、特に子育てに理解があり、思いやりと郷土愛いつぱいの町」の実現を目指した学校教育・社会教育を。

A 学校教育課長 現在中学校では、赤ちゃんふれあい体験事業、技術・家庭科で保育実習を行ない、体験活動をとおして子育てや妊婦の方々に対する理解を深め、思いやりやさしい心を育てています。また、小学校3、4年生で郷土の歴史・文化を、中学校3年生で小川町の行政と課題について学び、地域への社会参加意識を高め、今後もあらゆる機会を通じて、町民の子育てに係る理解や郷土愛がさらに深まるよう、やさしいまちづくりに努めます。



子育て支援センター内。
子どもたちの姿に自然と顔もほころびます。



一部事務組合議会 って何ですか？

複数の自治体が、行政サービスの一部を共同で行なうことを目的として設置する組織のことを「一部事務組合」といいます。

比企管内では、ごみ処理や消防・救急、火葬場の運営等を行なうために、3つの一部事務組合議会を設置しています。

参加している自治体からはそれぞれ議員を選出し、定例会等を開催して審議していますので、その内容をお知らせします。

可燃ごみ処理

すべての地権者から 同意を得る

埼玉中部資源循環組合議会（吉見町議場）平成28年8月10日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計歳入歳出決算など4議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。本年度に実施予定だったバイオガス化施設整備に係る調査業務は、繰り越して平成28年度に実施しています。また後日、新ごみ焼却施設の建設予定地すべての地権者から、同意を得た旨の報告がありました。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

東松山斎場の整備計画が 示される

比企広域市町村圏組合議会（東松山市議場）平成28年8月9日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計のほか各特別会計の決算の認定など14件を審議、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問は3人が登壇し、主に東松山斎場の改築工事について考え・意見を求めました。全会計における町の負担額は約5億3000万円で、そのほとんどが消防特別会計に支出したものです。なお、「東松山斎場施設整備基本計画」が示されました。

ごみ処理・し尿処理

し尿処理施設の 改修工事が始まる

小川地区衛生組合議会（小川町議場）平成28年8月12日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計歳入歳出決算、平成28年度一般会計補正予算など5議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。嵐山町志賀にある池ノ入環境センターし尿処理施設は、建設以来20年が経過し、老朽化が進んでいます。これまでに積み立てた基金を使用して、約5億円規模の改修工事を平成28～29年度の予定で実施します。

地域貢献 できるように 頑張ります



奥平美佳さん（本二）
Mika Okudaira

私 が、小川町で生活するようになり15年が過ぎました。嫁ぎ先が自営業のため、私も結婚してすぐに家業を手伝うようになりました。右も左もわからぬままでしたが、ご来店いただくお客様や、毎月のガスの検針先でお会いするお客様などに支えられ、無事に15年を過ごすことができました。本当に感謝申し上げます。その間に生まれた2人の娘も町内の中学校、小学校でそれぞれ元気に生活させていただいています。

私が仕事・育児・家事に追われながらも感じていたことは、小川町は四季折々の自然が豊かであり、人々も穏やかで、本当に住みやすくよい町であるということです。同世代の方々の地域社会への貢献も活発で、小川町をよりよくしていこうとする気持ちが伝わってきます。私も微力ですが、地域貢献できるように頑張っていきたいと思います。

わたしの
ヒストリー

小 川町に住んで三十数年になります。つくづくいい町だと思っています。

私は横浜の生麦に生まれ、東京は板橋、静岡は沼津、愛知県は蟹江町で幼少年時代を送り、青年時代は東京の新井薬師、練馬の江古田、新宿の百人町に住んで、社会に出てからは上尾、川越に住んでそれから小川町に越してきました。それらの自分の過ごしてきたところと比べても、小川町はいい町です。

その理由は、まず自然が豊かなところ。また、昔からの習慣を大事に受け継ぎ、紙すきの技術や酒造、祭り、有機農業といった伝統文化や産業が隆盛しています。さらに、多方面で活躍する才能にあふれた方たちがたくさんおり、いろいろな場所・機会、草の根的な活動もされています。東京からのアクセスも容易な地の利を生かし、町民の皆さんと一緒に力を合わせ、この町を未来に向けて育てていきたいものです。



みんなで築こう 未来の小川町

長倉正昭さん（飯田）
Masaaki Nagakura